

3日後にキリストは墓からよみがえられ、墓は空になりました。主は死の縄目を断ち切り、墓に対して永遠の勝利を収められたのです。こうして完全な贖罪が成し遂げられました。



右—「復活の朝」のマグダラのマリヤに御姿を現されるキリスト。アレクサンダー・イワノフ画。ロシア、サンクトペテルブルクの国立ロシア美術館蔵。SCALAART RESOURCE, NY  
左上—「復活の朝」のマグダラのマリヤに御姿を現されるキリスト。エドワード・マクドナルド・ポーター画。ケンブリッジ美術館蔵。SCALAART RESOURCE, NY

このように、創造から墮落が生じ、墮落によって肉体と死がもたらされ、そしてキリストによって不死不滅と永遠の命がもたらされたのです。

もし死をもたらしたアダムの墮落がなかったなら、命をもたらずキリストの贖罪もなかったでしょう。

さらに、神の血を流すことによってなされた完全な贖罪に関し、わたしはそれがゲツセマネとゴルゴタで行われたことを証します。またイエス・キリストに関して、イエスが生ける神の御子であり、この世の罪のために十字架におかかりになった御方であられることを証します。イエスはわたしたちの主であり、神であり、王であられます。わたしはこのことを、誰に頼ることなく自分自身の証として知っています。

わたしは主の証人の一人であり、いつの日か主の手と足の釘跡くぎに触れ、主の足を涙でぬらすことでしよう。

しかし主が神の全能の御子であられ、わたしたちの救い主、贖い主であられ、また救いが主の贖いの血以外の何ものからももたらされないという知識は、これからも今と何ら変わることがないでしょう。

父なる神が光の中におられるように、わたしたち全てが光の中を歩むことを神が許してくださいませように。それは、約束されているとおり、御子イエス・キリストの血によってわたしたちのあらゆる罪が清められるためです。■

ブルース・R・マッコンキー「ゲツセマネの清めの力」『聖徒の道』1985年7月号、9-11参照。原文〔英語〕では、句読点、大文字は標準用法に修正されています。これは、マッコンキー長老がこの世における使徒として最後に述べた証です。長老はこの2週間後に亡くなりました。



空になった墓で、復活されたキリストはマグダラのマリヤに御姿を現され、こうお尋ねになりました。「『……なぜ泣いているのか。……マリヤは、その人が園の番人だと思って……ふり返って、イエスにむかって……「ラボニ」と言った。それは、先生という意味である。』（ヨハネ20:15-16）」

そこでイエスはマリヤに言われました。「わたしにさわってはいけない。わたしは、まだ父のみもとに上っていないのだから。」（ヨハネ20:17）」

